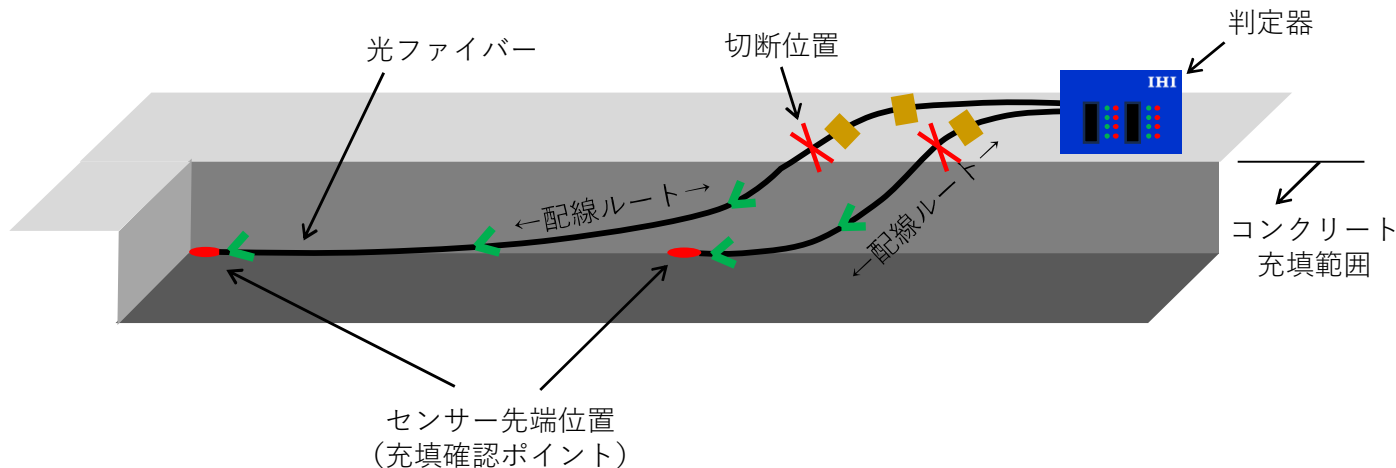


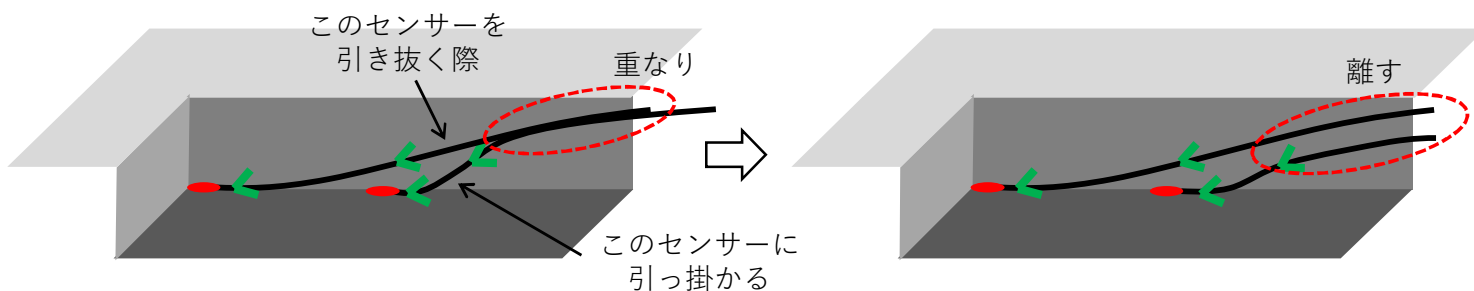
※本施工要領は、装置付属の取扱説明書と合わせてお読みください。

■センサー、判定器の配置計画

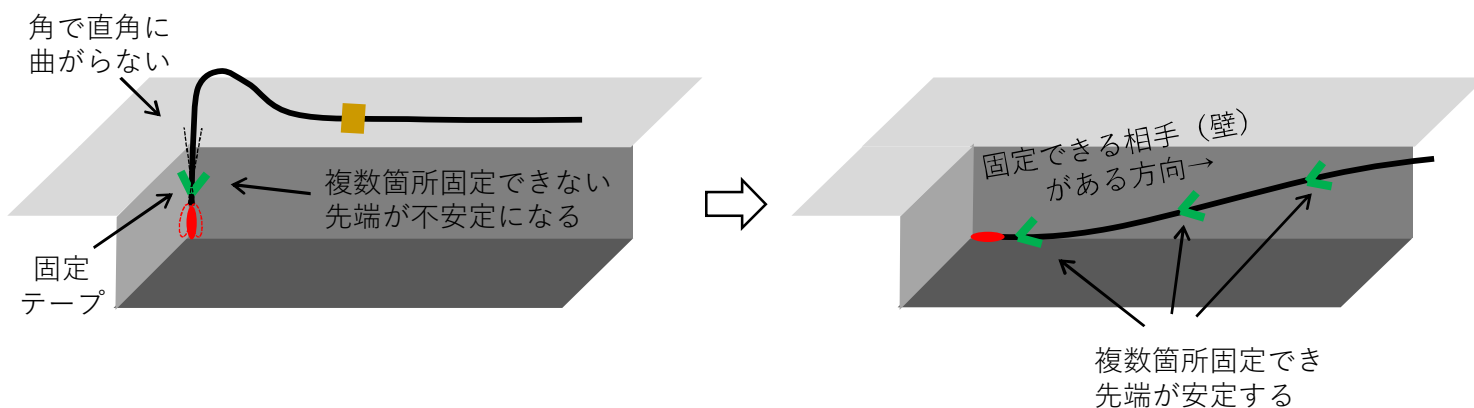
- ・センサー先端位置、判定器の設置位置、配線ルート、切断位置を決定します。



- ・配線ルートから、センサーの必要長さを求め、使用するセンサーの長さを決定します。
(センサー長は5m、15mより選択)
- ・センサーの必要長が15mを超える場合は、判定器の盛替を計画します。
- ・切断位置は充填確認後、センサー先端部を引き抜きやすくするために切断する位置です。
コンクリートを充填する範囲から外れた位置とします。
- ・切断位置より先端側は、複数のセンサーが重ならないようにします。重なると、一方のセンサーを引き抜く際、もう一方のセンサーに引っ掛かり、外れる恐れがあります。



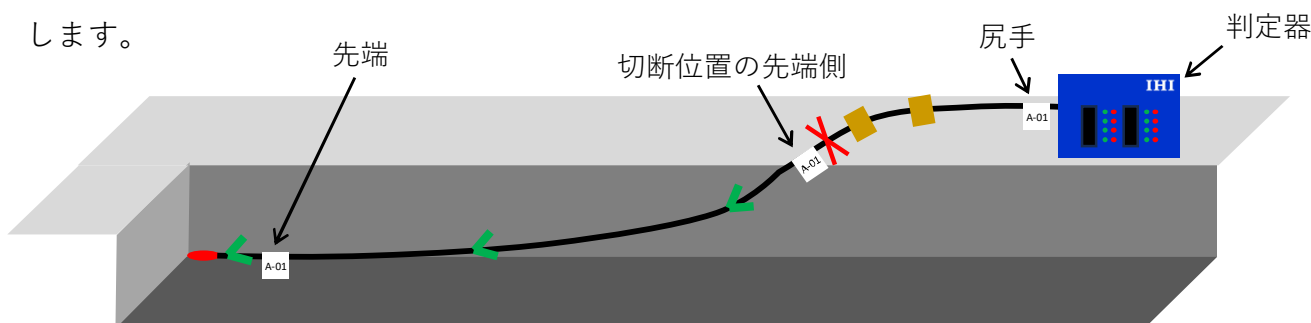
- ・光ファイバーは割りと硬く、直角に折り曲げたりできないので、センサー先端の向きは判定器に向かって2～3箇所固定できる相手がある向きとします。



スカセンサー施工要領

■センサーへのタグの取り付け

- ・センサーを判定器にセットする際、取り違えを防止するために、予め各センサーにタグを取り付けます。タグは養生テープなどを用います。
- ・タグの取り付け位置は先端、尻手（判定器へセットする側）、切断位置（先端側）の3箇所とします。



- ・先端のタグは固定後、撤去が必要です。また切断位置のタグは固定後に位置を調整することができます。この2箇所のタグは剥がしやすいように、テープの先端を折り返すことをお勧めします。



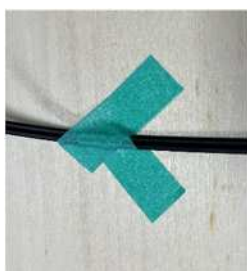
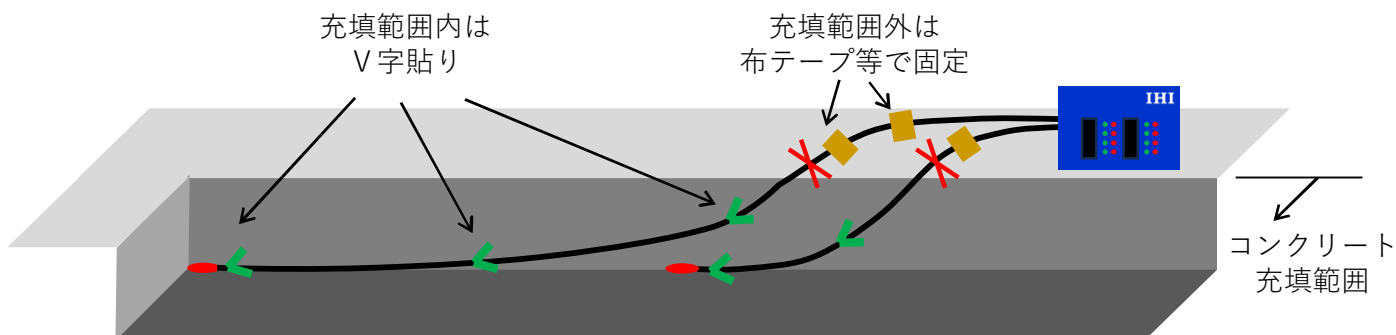
タグを取り付けた状態



タグ先端 テープの折返し

■センサーの固定

- ・センサーは打設中などに位置がずれないように固定します。コンクリート充填範囲の固定は別紙「スカセンサー テープによる固定要領（V字貼り）」に示す通り、V字貼りにて固定します。
- ・コンクリート充填範囲から外れる箇所は、布テープ等でしっかりと固定します。



V字貼り



布テープ等で固定

スカセンサー施工要領

■センサーの固定（続き）

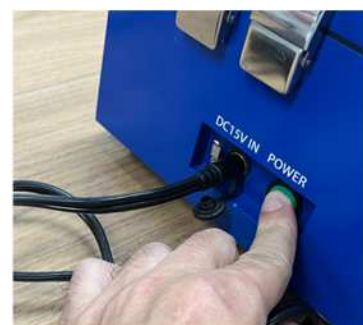
- ・センサーの固定後、打設までの間に尻手側が汚れたり濡れたりしないように、ビニール袋等で養生します。



尻手側の養生

■判定器の準備

- ・判定器のフル充電をお願いします。8ch機は電源接続後、必ずPOWERスイッチを押してください。
POWERスイッチを押さないと充電が開始しません。
- ・8ch機のフル充電状態からの可動時間は約5時間です。5時間以上使用する場合は、現場に100V電源の用意をお願いします。
(1ch機のフル充電状態からの可動時間は約8時間です)
- ・データ記録用のSDカード（フォーマット済み）を挿入します。
－8ch機の場合－



POWERスイッチ位置



①側面の扉を開く→②内扉を開く



SDカード挿入

- －1ch機の場合－



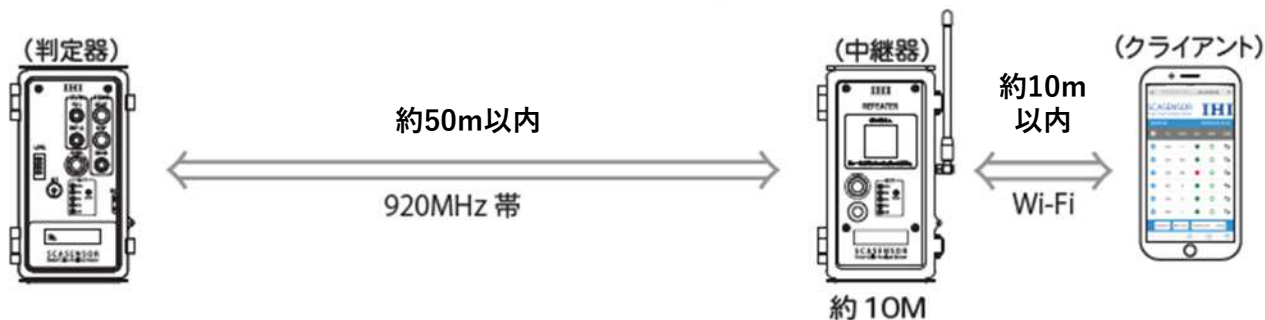
SDカード挿入（microSDカード）

スカセンサー施工要領

■機器の配置

- ・判定器を配置します。判定器の向きは充填完了写真撮影を考慮した向きとします。
- ・1ch機を用いる場合は、クライアント（タブレット）による集中管理を行うため、中継器を配置します。中継器の配置は以下の通信距離を考慮します。

（1ch機、中継器の取り扱いは別紙 取扱説明書を参照ください）



1ch機の通信距離

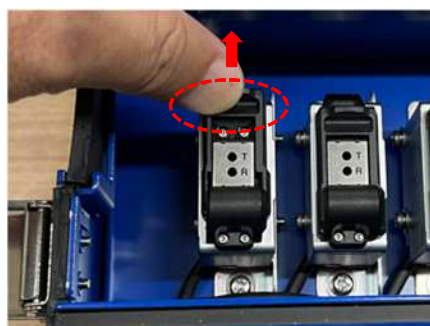
■センサーの挿入

- ・センサーを判定器にセットします。判定器の蓋を開き、ファイバー差込部にセンサーの尻手を挿入します。センサーの尻手は2本に分かれていますが、区別はありません。

－8ch機の場合－



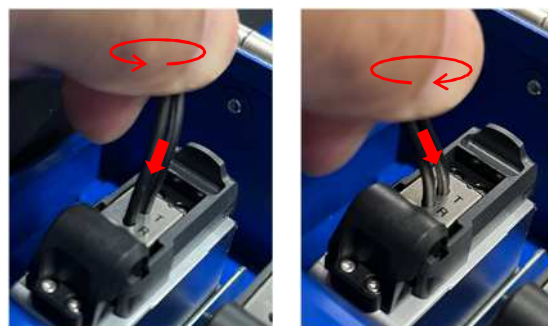
①蓋を開く



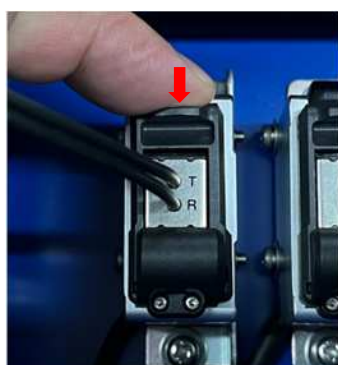
②ファイバー固定具を上げる



③センサー尻手を挿入



※④グリグリとしっかり押し込む（重要）



⑤固定具を下げる



⑥蓋を締める



⑦蓋をロックする

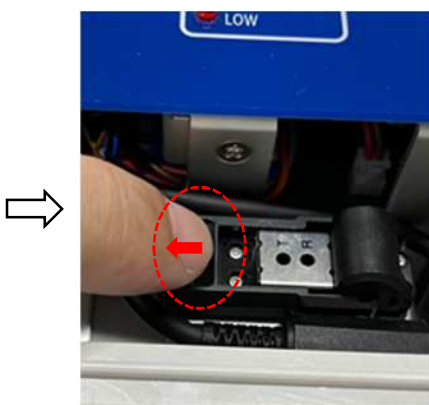
スカセンサー施工要領

■センサーの挿入（続き）

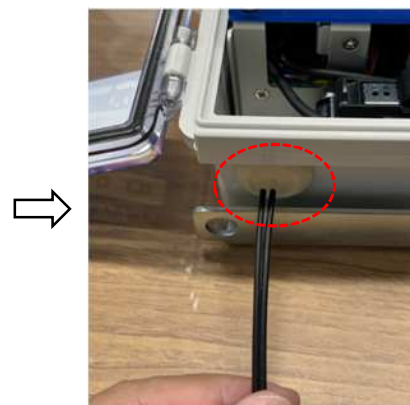
－1ch機の場合－



①蓋を開く



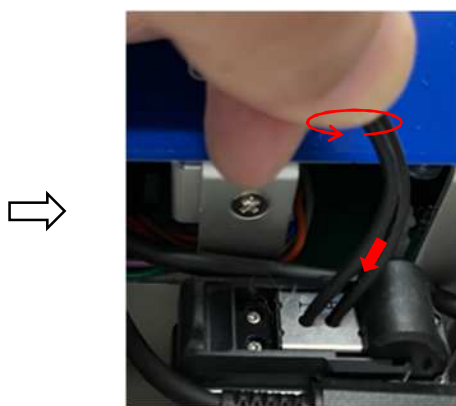
②固定具を左にスライド



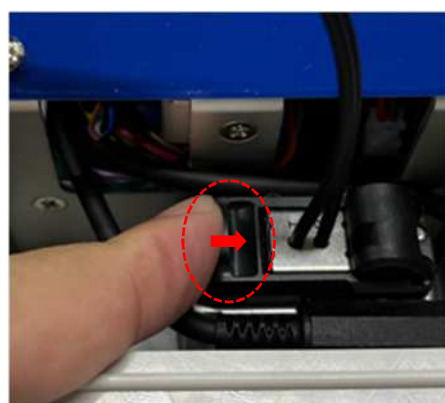
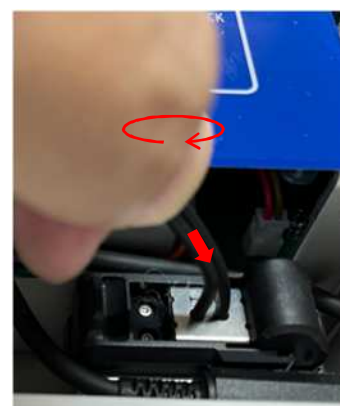
③グロメット部から挿入



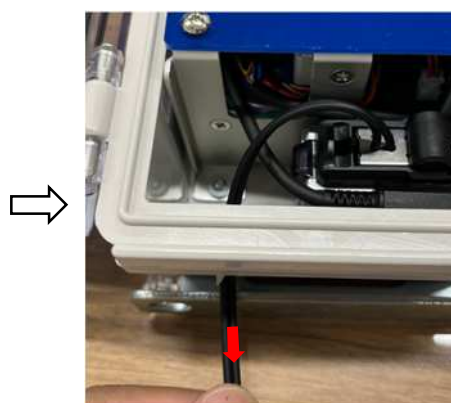
④センサー尻手を挿入



※⑤グリグリとしっかり押し込む（重要）



⑥固定具を右にスライド



⑦ファイバーのたるみを取る



⑧蓋を閉め、ロックする

※ センサー尻手部はグリグリとしっかり押し込まないと、センサーが反応しない場合があります。
※ センサー尻手部は汚さないように細心の注意をお願いします。汚れた手で触らないでください。
汚れた尻手部を判定器に挿入すると故障の原因になります。

スカセンサー施工要領

■判定開始（コンクリート打設開始）

- ・コンクリート打設が始まったら判定を開始します。
- ・判定は以下の手順で行います。

－8ch機の場合－



①POWERスイッチON



②STARTスイッチON



③バッテリーLEDが点灯



④RUNスイッチを押す
(長押し)



⑤RESETボタンを押す（長押し）



⑥表示値が999に近い値になる



⑦RECORDのSTARTスイッチ
を押す（記録開始）



⑧RECORDランプ点灯



⑨RECORDのSTOPスイッチを
押す（記録終了）



⑩RECORDランプ消灯

- ・RESETスイッチを押すことで、充填前の初期状態を内蔵コンピューターが記憶します。電源を切り、再投入した場合でも、一度記憶した初期状態は保存されます。
- ・各チャンネル番号の右にあるRESETスイッチを押すことで、個々のチャンネル毎の初期化を行うことができます。

スカセンサー施工要領

■判定開始（コンクリート打設開始）（続き）

－1ch機の場合－



①蓋を開け、
POWERスイッチを押す



②SETスイッチを押す
（長押し）



③表示値が999に近い
値になる



④RECORDのSTARTスイッチ
を押す（記録開始）



⑤蓋を閉める

- ・判定が終了したら、RECORDのSTOPスイッチを押し、POWERスイッチを押して電源を切ってください。
- ・SETボタンを押すことで、充填前の初期状態を内蔵コンピューターが記憶します。電源を切り、再投入した場合でも、一度記憶した初期状態は保存されます。

スカセンサー施工要領

■ 充填確認

- ・ センサー先端にコンクリートが充填されたら、OKランプ（1ch機はFILLランプ）が点灯します。
- 8ch機の場合 -



未充填状態



充填完了

- 1ch機の場合 -



未充填状態



充填完了

- ・ データ記録中、OKランプ（1ch機はFILLランプ）は点滅します。充填確認の写真を撮影する場合は、ランプが点灯した瞬間に撮影し、撮影後の写真をすぐに確認してください。

■ センサーの切断、撤去

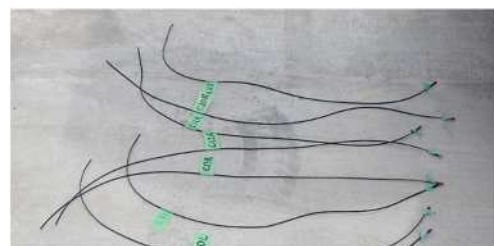
- ・ 充填確認が完了したら、直ちにセンサーを撤去してください。締固めが進むと抜けなくなる恐れがあります。
- ・ 予め予定していた切断位置でハサミ等を用いて切断します。
- ・ センサーを抜く際は、空気穴が残らないように、バイブを掛けながらゆっくりと引き抜きます。
- ・ 引き抜いたセンサーの現物確認が必要な場合は、引き抜いたセンサーを保管します。



センサー切断



センサー引き抜き

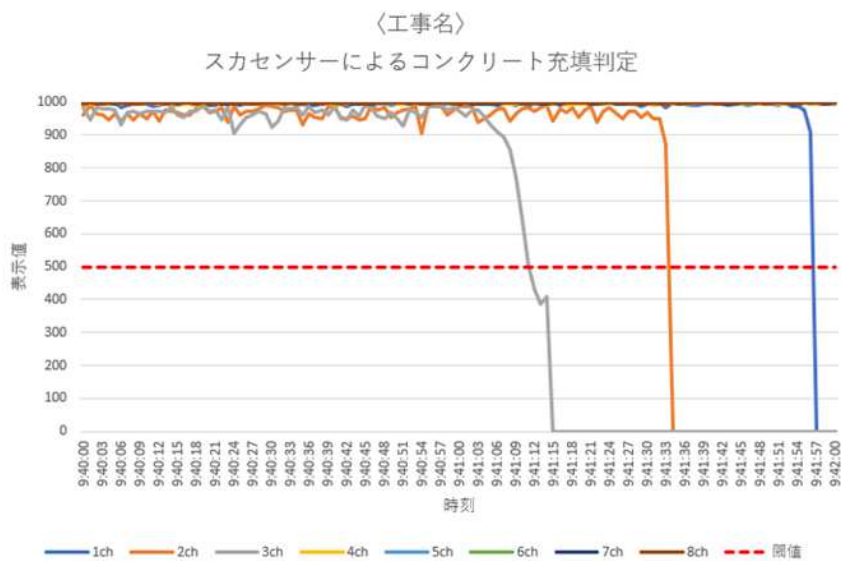


引き抜いたセンサーの現物確認

スカセンサー施工要領

■後処理

- ・一連の判定が終了したら、SDカードを抜き取り、CSVデータを確認します。
- ・CSVデータの整理は、「充填判定グラフ.xlsx」を用いる場合があります。参考にしてください。



充填判定グラフ.xlsx

- ・センサーは産業廃棄物として廃棄してください。
- ・次の判定の準備として、フル充電を行ってください。

以上

本施工要領に関する問い合わせ先

合同会社クリエボ技術研究所

TEL : 080-4323-4415

Eメール : nakamura@creavo.co.jp

担当 : 中村